

---

---

北アルプス広域連合一般廃棄物処理施設  
建設工事に係る見積等調査  
質 問 回 答 書

---

---

平成26年11月7日  
北アルプス広域連合

見積設計等調査に係る質問回答書

No.	資料名	頁	項目	質問等	回答
1	見積設計等調査の実施について	1	案内文 5行目	本工事の競争入札等の入札参加資格条件となると有りますが、参加資格を有した上で見積及び設計図書等を提出した者に対する指名競争入札になるのでしょうか、ご教示願います。	本工事の競争入札等の入札参加資格条件に「見積及び設計図書等を提出した者」の要件を加えます。
2	見積設計等調査の実施について	1	2 参加資格要件	入札参加資格要件に際して、当連合が示す範囲の指定業者（建築）との特定建設工事共同企業体を予定していますとの記載がありますが、ここで意図している指定業者についてご教示願います。	H25・26年度長野県建設工事（建築）ランクAの地元業者の参画を予定しています。（追加配布の名簿によります。）
3	見積設計等調査の実施について	1	2 参加資格要件 (3)①	新設の一般廃棄物処理施設の元請受注実績との解釈で宜しいでしょうか。	お見込のとおりです。
4	見積設計等調査の実施について	1	2 参加資格要件 (3)②	受注実績は100t/日以下で連続式、準連続式の規模施設と考えてよろしいでしょうか。	お見込のとおりです。
5	見積設計等調査の実施について	4	4 (5) ① 表中 2) (10) 周辺整備図面	「周辺整備図面」の提出にあたって、建設予定地周辺のCAD図をご提示をお願いします。	追加資料として配布します。
6	見積設計等調査の実施について	8	別紙様式3 納入実績	「ごみ処理施設（ストーカ式焼却方式）の納入実績」とありますが、「ごみ処理施設（ストーカ式焼却方式）の受注実績」と読み替えることで宜しいでしょうか。	お見込のとおりです。
7	見積設計等調査の実施について	8	別紙様式3 納入実績	平成11年4月以降で100 t以下によるストーカ炉の受注実績について、証明する資料としては契約書（表紙）と施設パンフレットの要望が有りますが、建設中でパンフレットが無い場合は契約書のみと考えて宜しいでしょうか、ご教示願います。	お見込のとおりです。
8	見積発注仕様書	3	第1章 第1節 7 2) (7) 河川保全区域	河川保全区域の範囲としては添付資料2の東側の点線内18000の範囲と解釈してよろしいでしょうか。	お見込のとおりです。
9	見積発注仕様書	5	第1章 第2節 1 2) (2) 組成	基準ごみの水分、可燃分、灰分の合計が100%になりませんので、ご教示願います。 また、元素組成の水素と酸素が、H26年2月の参考仕様書と大きく異なりますが宜しいでしょうか。	基準ごみの灰分6.5%を6.6%に訂正します。 元素組成は、水素8.20%、酸素34.07%に訂正します。
10	見積発注仕様書	5	第1章 第2節 1 3) 搬 出入車両	8 t パッカー車の主要諸元を教示願います。 主要諸元：①全長②全幅③全高④車輪距離・前⑤車輪距離・後⑥ホイールベース長⑦排出時地上高さ⑧最小回転半径	総重量8t、最大積載量4tとして、想定してください。

見積設計等調査に係る質問回答書

No.	資料名	頁	項目	質問等	回答
11	見積発注仕様書	6	第1章 第2節 5.稼働時間	1日24時間運転(運用上、繁忙期を除いて土曜日、日曜日は休炉とする)とありますが、基本運転日数は250日間と考えてよろしいでしょうか。	お見込のとおりです。
12	見積発注仕様書	6	第1章 第2節 7.余熱利用計画	③冷暖房とありませんが、暖房のみの理解で宜しいでしょうか。	空調は、冷暖房とします。
13	見積発注仕様書	6	第1章 第2節 7.余熱利用計画	「施設全体で年間を通じて熱回収効率10%以上を満足」とありますが、環境省循環型社会形成推進交付事業の平成25年度までの交付要件、「エネルギー回収推進施設」の計算方法により、「熱回収率10%以上を満足すること」と考えてよろしいでしょうか。	お見込のとおりです。
14	見積発注仕様書	6	第1章 第2節 7.余熱利用計画	本施設は、エネルギー回収型廃棄物処理施設(交付率1/3)の交付要件を満足する余熱利用計画との理解で宜しいでしょうか。 また、熱回収率10%は、基準ごみ時との理解で宜しいでしょうか。	N013を参照してください。
15	見積発注仕様書	6	第1章 第2節 7.余熱利用計画	「施設全体で年間を通じて熱回収効率10%以上を満足」とありますが、熱利用先は、熱回収率10%を確保すれば、優先項目を全て実施しないでも可能との解釈でよろしいでしょうか。	見積発注仕様書のとおりとします。 (①～⑤すべてを設備するものとします。)
16	見積発注仕様書	6	第1章 第2節 7.余熱利用計画	ロードヒーティングの必要期間をご教示願います。	12月～3月としてください。
17	見積発注仕様書	24	第1章 第7節 1 2) (1) プラント工事関係	「発注者と受注者が協議の上、別に定める消耗品」の他、「機器運転に伴う清掃・法定点検等」については、協議の上、別に定められるものと考えてよろしいでしょうか。	かし担保期間中の点検、整備・補修の負担については、同項のほか、第1章第7節6を参照してください。
18	見積発注仕様書	24	第1章 第7節 1 2) (2) 建築工事関係	「発注者と受注者が協議の上、別に定める消耗品」の他、「機器運転に伴う清掃・法定点検等」については、協議の上、別に定められるものと考えてよろしいでしょうか。	No17を参照してください。
19	見積発注仕様書	27	第1章 第8節 5 2) 電波障害対策工事	「本工事の施工に伴って発生した電波障害については工事範囲」とありますが、施工に伴って発生したとは、建設途中での重機や仮設足場等により発生する事を指すものと考え、建物本体によるものではないと考えて宜しいでしょうか。	お見込のとおりです。

## 見積設計等調査に係る質問回答書

No.	資料名	頁	項目	質問等	回答
20	見積発注仕様書	29	第1章 第9節 1 1) (5) ②年間処理費及び維持補修経費	「なお、運転は、土日休炉を原則とし、年間処理量に応じて運転日数を調整のこと」とありますが、P6 5稼働時間「1日24時間運転（運用上、繁忙期を除いて土曜日、日曜日は休炉とする。）」とありますので、繁忙期については明示されていないため、2炉運転及び1炉運転日数をご教示願います。	1月及び8月を繁忙期とし、年間処理量を処理できるよう運転日数を提案してください。
21	見積発注仕様書	29	第1章 第9節 1 2) 図面	提出図面はA3サイズといたします。	A3サイズでの提出とします。
22	見積発注仕様書	30	第1章 第9節 1 4) 施設設計に関する説明資料	「熱回収率10%以上（年間を通じて）の算出根拠」とありますが、熱回収率の定義はエネルギー回収型廃棄物処理施設整備マニュアル p29に記載されている「空気予熱器、排ガス再加熱器等、プラント循環利用熱量を含む。電気/熱の換算はしない」と考えてよろしいでしょうか。	N013を参照してください。
23	見積発注仕様書	30	第1章 第9節 1 5) 発電設備設定検討	・・・余熱利用を場内に次いでバイナリー発電（熱源：温水）とした場合・・・とありますが、発電の利用先（周辺整備地など）を予定されている場合、ご教示願います。	利用先は、場内利用を想定しています。
24	見積発注仕様書	30	第1章 第9節 1 5) 発電設備設定検討	「本仕様書の余熱利用を場内について、バイナリー発電（熱源：温水）とした場合の建設費、維持管理費、処理フロー、発電可能量、その他余熱利用への影響を示すこと」とありますが、メリットがないと判断した場合には、提出しないものと考えてよろしいでしょうか。	メリットがないと判断した際の根拠として、提出してください。
25	見積発注仕様書	40	第2章 第1節 7. 水害対策	重要機器が水没しない対策として、指定地盤高861.37mに対し機器を設置する床レベルを500mm程度高くする考え方（地盤嵩上げまたは床レベル嵩上げ）でよろしいでしょうか。	提案によるものとします。
26	見積発注仕様書	40	第2章 第1節 7. 水害対策	「対策は2.5mの水害に対応した造成指定高さを踏まえたい」とある造成レベルは、P.117の計画地盤高さ861.37mと考えて宜しいでしょうか。	お見込のとおりです。
27	見積発注仕様書	44	第2章 第2節 3-2. プラットフォーム出入口扉	(6)開閉時間 10秒以内とありますが、16秒以下でも宜しいでしょうか。	見積発注仕様書のとおりとします。

見積設計等調査に係る質問回答書

No.	資料名	頁	項目	質問等	回答
28	見積発注仕様書	46	第2章 第2節 6. ダンピングボックス	ダンピングボックス容量の指定があれば教示願います。	4tパッカーに対応できる容量としてください。
29	見積発注仕様書	53	第2章 第3節 3-1. 焼却炉	空冷壁を設置した場合、その冷却空気は直接大気放出しても宜しいでしょうか。	燃烧空気や白煙防止用空気等、エネルギーの有効利用が図られるようにしてください。
30	見積発注仕様書	58	第2章 第5節 1 4) 付属機器	施設周辺の環境保全に留意し、炉の起動時、停止時（メンテナンス時）を含め、常時集じん可能としたノーバイパスシステムを提案します。その場合(4) バイパス煙道は、設置不要として宜しいでしょうか。	提案によるものとします。
31	見積発注仕様書	58	第2章 第5節 1 4) 付属機器	(5) 温風循環装置は、温風の流れが少ない箇所で局所的な腐食が生じやすい傾向にあります。よって、ケーシングを直接加熱するケーシングヒータ方式としても宜しいでしょうか。	提案によるものとします。
32	見積発注仕様書	61	第2章 第5節 3. ダイオキシン類除去設備	「活性炭とHCl、SO <sub>x</sub> 除去設備のアルカリ剤の混合薬剤も可とする。」とありますが、その場合、本装置は不要と考えて宜しいでしょうか。	活性炭とHCl、SO <sub>x</sub> 除去設備のアルカリ剤の混合薬剤とした場合、ダイオキシン類除去設備の設置は不要です。ただし、HCl、SO <sub>x</sub> 除去設備に活性炭混合薬剤であることを記載してください。
33	見積発注仕様書	62	第2章 第6節 1. 温水設備	排ガスで熱交換した高温空気です温水を発生させた後の低温空気は、直接大気放出しても宜しいでしょうか。	燃烧空気や白煙防止用空気等、エネルギーの有効利用が図られるようにしてください。
34	見積発注仕様書	68	第2章 第7節 9. 煙突	煙突高がGL+59m（上限）とのことですが、高さは各社の任意との理解で宜しいでしょうか。	GL+59mとしてください。
35	見積発注仕様書	69	第2章 第7節 9. 煙突 5) 特記事項	(2) 吐出速度20m/s以上とありますが、基準ごみ時で宜しいでしょうか。	お見込のとおりです。
36	見積発注仕様書	73	第2章 第8節 6-1. 飛灰貯留槽	4) 主要機器の切り出し装置は「6-2 定量供給装置」と兼用としても宜しいでしょうか。	主要機器に記載の「切り出し装置」は、「6-2 定量供給装置」を示します。
37	見積発注仕様書	74	第2章 第8節 6-2. 定量供給装置	形式が「テーブルフィーダ方式」となっていますが、弊社で多数実績のある2軸スクリーコンベヤとしてもよろしいでしょうか。	薬剤処理に必要な定量性が確保できることを前提として、提案を認めるものとします。
38	見積発注仕様書	74	第2章 第8節 6-3. 薬剤添加装置	維持管理費低減のため、薬剤希釈は配管ライン上で行うものとし、4) 希釈水タンクを削除しても宜しいでしょうか。	提案によるものとします。

見積設計等調査に係る質問回答書

No.	資料名	頁	項目	質問等	回答
39	見積発注仕様書	77	第2章 第9節 給水設備 1. 特記事項 10) 井水の 飲用	「10) 井水の飲用のため、水質試験を実施し、必要に応じて飲用に適した水質まで浄化すること。」とありますが、P3 7立地条件5) (2) 用水 生活用水は上水とありますので、井水の浄化装置は不要と考えてよろしいでしょうか。	生活用水の上水のバックアップとして井水を使用できるように整備するものとします。
40	見積発注仕様書	77	第2章 第9節 給水設備 1. 特記事項 10) 井水の 飲用	10) 井水の飲用のため～とありますが、(P6で飲用は上水使用) 井水はプラント用と理解しても宜しいでしょうか。	N039を参照してください。
41	見積発注仕様書	77	第2章 第9節 給水設備	井水の水質データを教示願います。	建設場所の水質データはありません。
42	見積発注仕様書	82	第2章 第10節 排水処 理設備	ごみピット汚水は炉内噴霧またはごみピット返送となっていますが、設備費、維持管理費の低減のため、ごみピット汚水貯留槽からごみピットへ返送するシステムのみとしても宜しいでしょうか。	提案によるものとします。
43	見積発注仕様書	88	第2章 第11節 1 3) (2) プラント動力	6.6kV、400V級とありますが、200V級でも宜しいでしょうか。	総合的に判断して提案してください。
44	見積発注仕様書	88	第2章 第11節 1. 電気 方式	1) 「受電電圧 交流三相3線式 6.6kV、50Hz、1回線」とありますが、中部電力の場合は基本的に60Hzとされますが、本計画予定地は50Hz地域であると中部電力に確認されているものと考えてよろしいでしょうか。	60Hzに訂正します。
45	見積発注仕様書	90	第2章 第11節 4-1. 動力 制御盤	動力制御盤について「原則、コントロールセンター方式とする」とありますが、制御回路は用途別にシーケンサを設け制御回路を構成し、遠隔監視、運転システムとは通信にて接続します。負荷数が少なく、容量も比較的小さく、現場制御盤等への電源送り多い回路構成のため低圧動力制御盤は電磁集合盤型としても不都合はないと判断します。また、回転数制御用インバータ負荷についてもコントロールセンターユニットに収納可能ですが、熱放散等を考慮すると好ましくないため、動力制御盤は電磁集合盤(JEM-1265-CX)で計画してもよろしいでしょうか。	見積発注仕様書のとおりとします。

## 見積設計等調査に係る質問回答書

No.	資料名	頁	項目	質問等	回答
46	見積発注仕様書	90	第2章 第11節 4-1. 動力制御盤	「原則、コントロールセンター方式とする。」と記載されていますが、コントロールセンター方式の場合、地元のメーカーによる製造ができない事や地元業者への点検、整備作業が一部発注できない可能性も想定される為、電磁集合盤も採用しても宜しいでしょうか。	N045を参照してください。
47	見積発注仕様書	93	第2章 第11節 5-2. 非常用発電機	発電機電圧について、400Vと指定がありますが、変圧器の項目にて事業者側が200Vを選択可能な仕様となっております。よって、プラント設備の使用する電圧によっては、200Vの仕様としても、宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
48	見積発注仕様書	93	第2章 第11節 6. 無停電電源装置	入力電圧DC100Vと記載ありますが、蓄電池仕様により異なる為、受注後の実施設計において提案しても宜しいでしょうか。	実施設計時の協議によるものとします。
49	見積発注仕様書	107	第2章 第12節 7. 計装用空気圧縮機	計装用空気圧縮については、システム上不要な場合には維持管理費の低減のために削除してもよろしいでしょうか。	提案によるものとします。
50	見積発注仕様書	112	第2章 第13節 4 2) (2) f. 説明用ビデオ複製設備	説明用ビデオ複製設備について、具体的のどのような設備をイメージされているのかについてご教示ください。	BDまたはDVDを複製できるPCを想定しています。場内に設置するPCのいずれかで対応できる場合には、個別設置の必要はありません。
51	見積発注仕様書	116	第3章 第1節 1 3) (2) 仮設事務所	必要備品とありますが、数量は3名分と考えてよろしいでしょうか。また、その他の備品について明細をご教示願います。	監理人数は委託者を含め、6名程度が執務できるよう計画してください。
52	見積発注仕様書	116	第3章 第1節 1 6) 掘削工事	施工時に発生する地下水等は、仮設調整池及びノッチタンク等で溜め、うわ水を近くの河川等に排水してもよろしいでしょうか。	水質汚濁防止法に規定されている排水基準に適合させるものとします。
53	見積発注仕様書	116	第3章 第1節 1. 計画概要	1) 工事範囲に於ける本工事範囲外に「特記無き建物内備品一式」とありますが、P. 131に記載の(3) 造作・備品に記載のあるもの以外の備品類が本工事範囲外であると考えて宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
54	見積発注仕様書	116	第1章 第1節 1. 計画概要 3) 仮設計画 (1) 仮囲い	仮囲いの設置位置は添付資料①. 現況図に於ける青色のラインと考えて宜しいでしょうか。	仮囲いは、添付資料①現況図に於ける敷地境界（赤色ライン）とします。
55	見積発注仕様書	118	第3章 第1節 2 2) 車両動線計画	職員車両の敷地への進入は北側よりと考えてよろしいですか。	原則として、施設南側からの進入とします。

見積設計等調査に係る質問回答書

No.	資料名	頁	項目	質問等	回答
56	見積発注仕様書	118	第3章 第1節 2 2) 車両動線計画	敷地境界外（工事範囲外）の、進入路設置に必要な造成（盛土）は、県道325号線と敷地境界線の間約150m <sup>2</sup> 程度と考えてよろしいですか。	お見込のとおりです。
57	見積発注仕様書	118	第3章 第1節 2 2) 車両動線計画	敷地北西部交差点から駐車場までの市道改修は、見積上、幅5m程度の構内道路舗装仕様同等と考えてよろしいですか。	お見込のとおりです。
58	見積発注仕様書	118	第3章 第1節 2 2) (3) 一般車動線（見学等）	来場者駐車場（必要台数40台以上）と記載がありますが、P134の3) (2) 駐車場計画台数とは記載が異なります。とちらを優先して計画すれば宜しいでしょうか。	P134の3) (2) 駐車場計画台数を正としてください。
59	見積発注仕様書	118	第3章 第1節 2 2) (5) グランド利用者駐車場	「駐車場から構内に侵入できないようフェンスを設置すること」と記載がありますが、P134 3) に「グランド利用者用駐車場を兼ねて配置すること」とあります。どちらが正でしょうか。	グランド南側駐車場から施設内への自由な進入ができないよう門扉を設置してください。その他、施設周囲のネットフェンス設置位置は添付資料②を参照してください。
60	見積発注仕様書	123	第3章 第2節 1 3) (4) 多目的室	本部屋の利用人数をご教示願います。	20名程度を想定してください。
61	見積発注仕様書	124	第3章 第2節 2 2) 基礎構造	「残土の無料処分可能な候補がある」とありますが、建設地よりどの程度の距離の場所でしょうか。ご教示願います。また、現地では積下ろし後の土砂整地等も無償にて対応願えるものと考えて宜しいでしょうか。	距離は10km圏内です。なお、現状は候補であることに留意してください。
62	見積発注仕様書	126	第3章 第2節 2 5) (5) 建具	⑨にて「外部に面する建具は原則として必要な断熱性能を確保」とありますが、前述のペアガラスを設置するアルミ建具を指すものと考えて宜しいでしょうか。	お見込のとおりです。
63	見積発注仕様書	128	第3章 第2節 4 2) ストックヤード棟	建築面積400m <sup>2</sup> とありますが、添付資料2より判断すると100m <sup>2</sup> 程度と思われます。100m <sup>2</sup> 程度で宜しいでしょうか。	建築面積を250m <sup>2</sup> としてください。
64	見積発注仕様書	128	第3章 第2節 4 2) ストックヤード棟	本棟は、可燃性粗大ごみの一次貯留用で仕切は不要との理解で宜しいでしょうか。	ストックヤード棟は、資源物等のストックヤードと⑤公用車駐車場として運用する予定です。仕切り等は必要ありません。



見積設計等調査に係る質問回答書

No.	資料名	頁	項目	質問等	回答
65	見積発注仕様書	128	第3章 第2節 4 2) ストックヤード棟	(6) 建具にシャッター又はオーバースライダーと有りますが、ストックヤードの正面(搬出入側) 全てにシャッター等が必要と考えて宜しいでしょうか。	お見込のとおりです。
66	見積発注仕様書	128	第3章 第2節 4 2) ストックヤード棟	(7) ①建築面積が400㎡とありますが、後述の⑤. 車庫も含んだ面積と考えて宜しいでしょうか。	お見込のとおりです。(No63及びNo64参照)
67	見積発注仕様書	129	第3章 第2節 4 2) ストックヤード棟	(8) ⑤の公用車5台の車両寸法をご教示願います。	最大を4tパッカーとして想定してください。
68	見積発注仕様書	129	第3章 第2節 4 2) ストックヤード棟	(8) ⑤車庫を計画するにあたり、車両諸元をご教示願います。	N067を参照してください。
69	見積発注仕様書	129	第3章 第2節 4 2) ストックヤード棟	(8) ⑥「フォークリフト、ホイールローダーによるストックヤードへの搬送を考慮し、必要な保護を行うこと。」とありますが、ストックヤードに搬送されるものをご教示願います。	N064を参照してください。
70	見積発注仕様書	130	第3章 第2節 4 3) (1) 工場棟	主要設置部屋構成の中に、脱衣室・シャワーとありますが、P122 (9) の脱衣室、浴室とは別途設けるのでしょうか。	同一のものを示しています。
71	見積発注仕様書	131	第3章 第2節 5 6) (3) 造作・備品	設置する項目に「その他必要な備品」とありますが、造付けが必要なカウンター等を指し、机・椅子・後置き可能なロッカー等を除くものと考えて宜しいでしょうか。	お見込のとおりです。
72	見積発注仕様書	132	第3章 第3節 1(2) 盛土材調達先	盛土材は、建屋掘削土を使用しても宜しいでしょうか。	必要な試験を行ったうえで、盛土材として使用可能な場合は、使用できるものとします。
73	見積発注仕様書	132	第3章 第3節 1(2) 盛土材調達先	盛土材計画による必要数量は入手可能と考えて宜しいでしょうか。また、「安価で購入」の単価の目安をご教示願います。その際、現地での積込みを含んだ単価でしょうか。	数量、単価等は未定です。
74	見積発注仕様書	133	第3章 第3節 2 6) 屋外灯	「構内道路(新設)には別途工事で屋外灯を設置する」と有りますが、本工事で設置する屋外灯は構内道路を除いたエリアと考えて宜しいでしょうか。また、後述の環境啓発施設の森林整備エリアは屋外灯設置の対象外と考えて宜しいでしょうか。	屋外灯の設置は構内道路を含む造成(盛土)範囲内とします。また、森林整備エリアは屋外灯の設置しないものとします。

見積設計等調査に係る質問回答書

No.	資料名	頁	項目	質問等	回答
75	見積発注仕様書	134	第3章 第3節 3 3) (2) 計画台数	①普通車【50】台（運転職員用）とありますが、弊社にて想定する運転職員数に応じた駐車台数としてもよろしいでしょうか。	お見込のとおりです。
76	見積発注仕様書	135	第3章 第3節 3 4) 構内排水設備工事	「ロードヒーティング設備による冬季融雪水・雨水貯留槽、」との記載がありますが、今回工事に雨水利用設備は無いため、当該項目は適応外と考えてよろしいですか。	お見込のとおりです。
77	見積発注仕様書	135	第3章 第3節 3 4) 構内排水設備工事	雨水は地下浸透との仕様ですが、ピーク最大降雨時は全量を浸透させることは困難です。最大降雨時の対策として、貯留方式との併用をお考えでしょうか。または、ピーク時は外部排水路に放流するお考えでしょうか。	放流しないものとし、貯留方式との併用等、提案によるものとします。
78	見積発注仕様書	135	第3章 第3節 3 4) 構内排水設備工事	添付資料3.の861.37以上に造成する施設エリア及び進入路が対象の範囲と考えて宜しいでしょうか。	お見込のとおりです。
79	見積発注仕様書	135	第3章 第3節 3 6) 門・圍障工事	門柱2箇所記載がありますが、添付資料3には門扉が3箇所記載があります。3箇所と考えてよろしいですか。	お見込のとおりです。
80	見積発注仕様書	137	第3章 第3節 3 11) 周辺整備工事	(5) 不法立ち入り防止用及び野生動物外周のフェンスは、P133のフェンス(1.1m)の外側に設置するとの理解で宜しいでしょうか。 また、造成範囲の希少種をご教示願います。	不法立ち入り防止用及び野生動物外周のフェンスは、敷地境界に設置するものとします。希少種は、ラン科の植物です。なお、移植については発注者の対応とします。
81	見積発注仕様書	137	第3章 第3節 3 11) 周辺整備工事 及び、添付資料⑥	(2)「かんきょうの小路エリア」整備/③に伐採木を利用した遊具整備、また、添付資料⑥の凡例①～⑥：間伐材を使用した遊具とありますが、公共の用に供する遊具としての安全規準を満たす事に不安があります。遊具類は安全規準に則った既製品を採用するものと考えて宜しいでしょうか。	お見込のとおりです。なお、詳細は実施設計時の協議によるものとします。
82	見積発注仕様書	142	第3章 第4節 6. 冷暖房設備工事	暖房設備は余熱利用設備によるものとするがありますが、休炉時など余熱利用出来ない時は、必要最低限の居室のみ補助ボイラまたは電気式を使用するとの理解で宜しいでしょうか。	お見込のとおりです。

見積設計等調査に係る質問回答書

No.	資料名	頁	項目	質問等	回答
83	見積発注仕様書	145	第3章 第5節 2. 照明及びコンセント設備工事	高天井の照明は水銀灯及びナトリウム灯を使用し、電動式オートリフタを採用するものとありますが、LEDを使用した場合は電動式オートリフタは不要として宜しいでしょうか。	お見込みのとおりですが、メンテナンスを考慮した設備としてください。
84	様式1	—	様式1 見積書様式	土木建築工事の①～⑧は建屋工事に合算でよいとのことですが、⑨～⑪についても建屋工事に合算とさせていただきたくお願いいたします。	様式のとおりとします。
85	様式1	—	様式1 見積書様式	見積書の項目については工種毎に●●工事一式として工種をまとめてもよろしいでしょうか。（例：①受入供給設備工事、①-1計量機、①-2-1プラットホーム（土建を含む）、①-3・・・を、①受入供給設備工事一式としてまとめる）	N084を参照してください。
86	様式2	—	様式2 維持管理経費	⑮周辺整備施設点検補修費用に該当する費用項目をご教示ください	第3章 第3節 3 11)周辺整備工事に示す項目とします。
87	様式6-3-1	—	様式6-3-1 生活7x24時間突排ガス（大気質）	炉運転日数が250（予定）となっておりますが、年間処理量10.413tですと261日となります。どちらを正にするかご教示願います。	年間処理量に応じた運転日数を記載してください。
88	添付資料②	—	添付資料② 配置計画図	配置計画図（参考図）のCADデータを頂けないでしょうか。	N05を参照してください。
89	添付資料③	—	添付資料③ 所掌区分図	敷地北側の駐車場進入までの道路整備は、着色範囲の舗装のみと理解しても宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
90	添付資料⑤	10	添付資料⑤ 5. 今後の留意点	「試験時の取水量は毎分20リットルと実際の汲み上げ量より少なかった」とありますが、取水制限量等がございましたらご教授願います。	取水制限等はありません。
91	添付資料⑥	—	添付資料⑥	計画図中、「緑粋水色塗りつぶし」のエリアは何を示されているのでしょうか。ご教示願います。	追加資料として添付資料6を再配布します。
92	添付資料⑥	—	添付資料⑥	「バードウォッチングエリア」は、添付資料②に記載の雨水排水溝以外の雨水排水等の設備は設けないものと考えて宜しいでしょうか。	必要に応じて、雨水排水等の設備を設けるものとします。

見積設計等調査に係る質問回答書

No.	資料名	頁	項目	質問等	回答
93	添付資料⑥	—	添付資料⑥	<p>「かんきょうの小路」は冬季のスノーシュー利用を考えた場合、敷地の凹凸による橋架け等は困難と思われれます。                      「バードウォッチングエリア」と同様に雨水排水対策は行わないものと考えて宜しいでしょうか。（敷地凹部は周囲より小路の高さを少し上げる等の対策で宜しいでしょうか）</p>	<p>小路の整備は、原則として橋掛け等の必要のないルートとします。なお、ルート上に残る敷地凹部は、必要に応じて周囲より小路の高さを少し上げる等の対策を行うものとなります。</p>